

立山線の検討状況

1. 令和7年度分科会での検討状況

(1) 第1回立山線・不二越上滝線分科会 (R7.6.5 開催)

[議題]

- ・不二越上滝線の検討状況について
- ・立山線の検討状況について
- ・鉄道事業運営にかかるモデル試算について

[議事要旨]

- ・観光需要など様々な課題に対し、再構築事業の実現可能性を調査検討する。
- ・岩峠寺～立山間は立山黒部アルペンルートへのアクセスを担う観光路線として極めて重要であり、県全体の観光・経済的な視点で考える必要がある。

(2) 第2回立山線分科会 (R7.9.1 開催)

[議題]

- ・富山地方鉄道鉄道線「経営の範囲」に伴う「運営区間」の考え方について
- ・立山線に関する知事への要望について
- ・立山線の検討状況について

[議事要旨]

- ・運賃の引上げなど収支改善を図り、持続可能性を高める方向で検討すべき。
- ・県は立山線岩峠寺駅から立山駅間について、観光路線として存続することを基本的な考えとして取組みたい。

(3) 第3回立山線分科会 (R7.11.22 開催)

[議題]

- ・富山地方鉄道立山線の必要性について
- ・地鉄立山線利用者の経済波及効果（試算）について
- ・地鉄立山線の利用促進に向けた取組みについて
- ・地鉄立山線における斜面防災対策の概要について

[議事要旨]

- ・路線の維持管理費や今後必要となる経費、行政側の財政負担の明確化が必要不可欠であるほか、再構築に向けた具体策や整備費の検討、利用者や収益の増加に向けて関係者連携して取り組むことが重要。
- ・R9年度から再構築事業(岩峠寺駅～立山駅間)の実施を目指すことで合意

2. 今後の取組み

(1) 収益増加策の検討及び行政負担の明確化

鉄道事業の収支改善に向けた収益増加策を検討し、併せて再構築事業に必要な経費の財政負担（事業規模・負担額）を明確化する。

(2) 利用者の利便の確保に関する事項等の検討及び実施計画の策定

再構築事業の本調査において、利用者（住民・観光客）から利便向上に繋がる具体策を収集・検討し、再構築事業実施計画に反映する。